

麻里布小学校 働き方改革に向けて

2024.8.8

1 働き方改革について

学校における働き方改革の目的は、教師が自ら授業を磨くとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、ひいては子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことです。現在、全国の学校で教職員の働き方の見直しが求められています。本校においても、教職員のライフワークバランスを整え、より一層子どもに向き合う対応が充実することをめざしていきたいと思います。

2 教職員の時間外勤務

勤務時間外に、学校で勤務をしている時間が45時間を超える教職員の割合

45時間を超える教職員の割合	40.80%	67.40%
----------------	--------	--------

1ヶ月の平均時間外勤務時間

	山口県	麻里布小学校
令和3年度	38.0時間	46.5時間
令和4年度	36.1時間	43.8時間
令和5年度	調査中	43.9時間

3 山口県働き方改革加速プランと本校の取組

【学校における働き方改革加速プラン（山口県）】3つの柱と13の取組

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
①事業・校務等の総点検と精選 ②総合型校務支援システムの導入と運用 ③校務におけるICTの活用 ④学校・教員が担う業務のあり方の整理と保護者・地域への理解の促進	⑤勤務時間管理の適正化と継続的な状況把握 ⑥意識改革を図る研修の充実 ⑦部活動の適正化 ⑧留守番電話の活用 ⑨メリハリのある働き方のルール化	⑩学校運営協議会等の仕組みの活用 ⑪教員業務支援員の配置 ⑫部活動指導員の配置 ⑬ICT支援員の配置

本校の取組

業務の見直し・効率化	勤務体勢等の改善	学校支援人材の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席連絡のデジタル化 ・ 学校評価アンケートのデジタル化 ・ 学校行事や行事内容の精選 ・ 1人1台端末の有効的な活用 ・ 会議資料のペーパーレス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話対応時間の設定 ・ 学校閉庁日の設定 ・ 学期末成績処理日の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全ボランティア ・ PTAボランティア ・ ICT支援員の活用 ・ 業務アシスタントの活用

4 今後の取組

【目標】 時間外在校等時間の上限方針の遵守
「月 45 時間を超える教員の割合を 0 に近づける」
(山口県 学校における働き方改革加速化プランより)

今後の取組

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の精選と内容の見直し ・ 家庭学習での一人一台端末の活用 ・ 配付文書のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時程の弾力的な見直し ・ 会議等の削減 ・ 管理職による勤務時間管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会等の地域の教育力の活用 ・ 小中連携による、効果的な学習の推進 ・ 学力保障に向けたボランティア支援

今後も、児童の健全な育成と、教職員が健康で心豊かな生活を送ることが確保できるように積極的な取組を行っていきたいと思います。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【参考資料 山口県働き方改革加速化プラン】

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/178202.pdf>

